

小中学校におけるプログラミング教育はどうあればよいか

主催：富山大学人間発達科学部 附属人間発達科学研究実践総合センター 学習環境研究部門

後援：日本デジタル教科書学会 富山県教育工学研究会

2020年開始とされる小学校でのプログラミング教育が注目を集めています。今後、プログラミング教育を小学校や中学校の学習にどのように位置付け、どのような目的や内容で進めていけばよいかを十分に考えていく必要があります。そこで、当センターでは講師をお招きして標記の研究会を開催します。

伊藤一成氏からは、現在のプログラミング教育の状況などを基に今後の在り方についてお話をさせていただきます。また、竹中章勝氏からは、参加者の皆様からもプログラミング体験ができるワークショップをしていただきます。小学生を対象とした内容ですのでどなたでも参加可能です。

小中学校等の先生方、教員を目指す学生の皆さん、プログラミング教育に関心のある方のご参加をお待ちしております。

講師紹介 青山学院大学 社会情報学部 准教授 伊藤 一成 氏



文系大学生に対するプログラミングの講義や地域に密着した子ども向けプログラミングワークショップの実施、また、高等学校「情報」での使用を想定したプログラミング教育のテキストの監修など、公教育でのプログラミング教育の具体的な在り方について様々な提案をされています。国家資格「情報処理技術者試験」試験委員、放送大学TV講座「Webの仕組みと応用」分担講師、情報処理学会「コンピュータと教育研究運営委員会」運営委員などとして、情報処理の分野で幅広くご活躍です。

青山学院大学 社会情報学研究科 客員研究員 畿央大学 現代教育研究所 客員研究員 竹中 章勝 氏



フィジカルコンピューティングの考え方を取り入れた高等学校「情報」の授業におけるプログラミング学習カリキュラムの開発に取り込まれるなど、プログラミング教育の在り方についての研究をされています。現在は、全国各地で小学生から大学生を対象としたプログラミング教育に関わる授業やワークショップをされています。また、奈良県教育委員会ICT教育推進コーディネータとしてICT活用の指導をされたり、ICTを活用した授業やノートテイキングについての講演などでもご活躍です。

【日 時】 平成28年11月12日(土) 14:00～(受付13:30～)

【会 場】 富山大学人間発達科学部2棟1階211教室 (富山市五福3190)

【参加費】 無 料

【プログラム】 第1部 講演(伊藤一成氏) 14:05～15:05

「産官学『プログラミング教育』大合唱の今、心に留めておくべき大切なこと」

第2部 ワークショップ(竹中章勝氏) 15:20～17:20

「小中学校の学びにおけるプログラミング体験初めの一歩」

(タブレットPCを使用した小学生向けのプログラミング体験をしていただきます。タブレットPC等の機器はこちらで用意いたします。)

申込み方法

参加を希望される方は、電子メール等で、11月10日までに下の連絡先にお名前とご所属をお知らせください。(第2部の参加につきましては申し込み順の35名までとなります。第1部と第2部のどちらかのみ参加を希望される場合はその旨もお知らせください。)不明な点等につきましても、お気軽にお問い合わせください。

<連絡先> 電子メール hasegawa@edu.u-toyama.ac.jp TEL・FAX 076-445-6381
〒930-8555 富山市五福3190 富山大学人間発達科学部

附属人間発達科学研究実践総合センター 長谷川 春生